

# 学校だより

高く 広く 強く 豊かに



2026（令和8）年6月1日  
伊賀市立阿山中学校  
No.4 伊賀市千貝 10 番地  
<http://www.iga.ed.jp/ayama-j/>

～だれもがいきいきと生きられる社会を  
めざして～

## ☆ 1 学期人権講演会 ・ 全校人権集会

5月26日（火）にPTA研修部主催の人権講演会が行われました。本年度も講演会と全体交流会の開催となりました。保護者・地域の皆さまにも参加をいただきありがとうございました。

講師に、元中学校教諭で三重大学や三重短大での非常勤講師をはじめ、さまざま役職をされている長島りょうがんさんをお迎えして「想いのカタチ」をテーマに講演をいただきました。

教員時代の子どもたちとの印象的なエピソードに関わって、ご自身のギターの弾き語りやピアノ演奏を交えながら、味わいのある熊野弁で語られました特に「いのち」について考えさせられ、また、「言葉のもつ重み」の大事さを伝えていただきました。

全体意見交流会では、1年生を皮切りに、2年生、3年生の多くの生徒や先生からの発言もあり、それぞれが、話を聴いての感想や自分の考えや思いを出しました。

### ～「人権講演会を終えて」の生徒の感想より～

◇家族や友達、周りにいる人たちがいるっていうのは、あたり前じゃないとあらためてわかった。だから、あたり前のことをあたり前だと思わずに常日頃感謝を忘れず、思いやりをもって、自分も家族も友達も周りの人たちも大切にしながら生きていきたい。

◇わたしは、デジカメの話で、ある女の子がお母さんにイライラして物を投げつけてしまったという話を聞いて、今までわたしもお母さんにイライラしちゃって、たたいてしまったり、暴言をはいてしまったしまったりしたことがあって、そのたびに後悔していた。これから受験もあり、イライラして家族にあたってしまうことがあると思うから、いったん心で整理して自分の気持ちを素直に伝えて後悔しないようにしようと思った。

◇長島さんの「一人にさせない」「一人にならない」という言葉を聞いて、自分や周りの人を一人にさせないように過ごしていこうと思いました。

◇心臓に病気のある女の子の話が心に残った。あきらめないで生きようとみんなで励まし合ってあかるい気持ちでいこうとしていた。でも、その子が亡くなってから、「やっぱり怖い」「もっと生きたい」「死にたくない」と思っていたことがわかったという話が切なかった。たった一つの大切な命、生きていなくていい命なんてないというメッセージが印象に残った。（中略）長島さんの歌った曲が心に響いた。

◇「自分の思いをカタチにする」という言葉が心に残った。ふだん思っても言えないことを心にとどめておくのではなく、心に決めて発言することで何かが変わるかもしれないと思った。また、発言だけでなく、行動に移すことで、もっと自分の思いがひろがっていくと思った。

◇広島に行くときに、普通に生きて生活できていたのに、一発の原子爆弾で多くの人々が亡くなってしまったから、「なぜ戦争をしてはいけないのか」をもう一度よく考えようと思った。クラスで意見を言うには、言いやすい空気をつくるのが大切だから、話してくれたら否定せずに、うなずいて聞ける空気をつくるべきだと感じた。



◇いじめは、この世界に必要なない行動です。その必要なないいじめをしたことで、学校に来ない、イヤな気持ちになります。いじめはこの世で最も恐ろしいものです。だから、いじめをなくすために僕たちが行動しないといけないということをあらためて教えてもらいました。

2026 (令和8) 年度阿山中学校マニフェストです ~よろしくお願ひします!~

## 《学校教育目標》

「あやま」を愛し、心豊かに、たくましく、ともに生きる生徒を育てる。

### 《めざす生徒像》



\* 自他の生命および人権を大切にす生徒

\* 自ら意欲的に学び、また、互いに学び合い、課題解決能力を持つ生徒

\* なかまとともにたくましく、目標に向かって最後までやりぬく生徒

\* 『あやま』の人とともに「地域」を大切に、国際社会に貢献できる生徒

| 取組目標  | 具体的な取組  | 評価目標<br>(生徒・保護者アンケート番号等)   |
|---|---|--|
| 【学力】<br>学び合い高め合う授業を展開し、わかる楽しさを仕組みます                                       | ①すべての授業で、主体的・対話的で深い学びをめざす。<br>②家庭学習の定着を図る。(「自学ノート・タブレット」「読書」の推進) ※メディアコントロールチャレンジによる家庭生活の見直し<br>③教職員の授業力向上を図り、探究的な学習をすすめる。  | 2. 授業がわかる 85%<br>4. 平日家庭学習90分以上 70%  |
| 【人権】<br>すべての生徒が安心して学べる学校づくりをすすめる中で、小中の連携を大切に、「なかまづくり」「自分づくり」「地域づくり」を推進します | ①小・中学校を通じた系統的な人権教育を推進する。<br>②自立と共生に向けて必要な力を養う。<br>③生徒との信頼関係を深め、いじめ等の早期発見・早期解決に努める(定期の教育相談年3回以上・学習計画帳の活用)<br>④互いを尊重しコミュニケーション力豊かな生徒集団を育成する。(クラスミーティング・全校人権集会年2回・人権サークル月2回) | 5. クラスのなかで、自分の思いや伝えたいことを安心して言える。 80%<br>6. 自分には良いところがある 80%<br>7. 先生は努力したことを認めてくれる 90%<br>8. 信頼できる友だちがいる 90% |
| 【キャリア】<br>「なりたい自分」を描き、夢・目標の実現をめざします                                       | ①その人の生き方に学ぶ場面として人との出合いを仕組む。<br>②学校生活の向上に向けて行動する生徒を育成する。(挨拶・整理整頓・時間厳守/生徒会活動や部活動等での自律的な運営/3年生と校長との面談等)  | 1. 学校へ行くことは楽しい 85%<br>12. 自分には夢・目標がある 80%<br>11. 学校生活の約束を守って生活している 80%                                       |
| 【家庭・地域】<br>『あやま』の人とともに「地域」を大切にす子どもを育てます                                   | ①日常から、『あやま』に関心を持ち、おとなとも対話できる力をつける。<br>②生徒が地域に発信したり、地域の方と対話したりできる機会を設定する。<br>③地域と協働した取組を行う。(登校指導・防災教育等)  | (保) 16. 学校は、家庭や地域とのつながりを大切にしている 90%  |
| 【働きやすい職場づくり】<br>職員が健康で、意欲と向上心を持って働ける環境にします                                | ①職員同士の対話を中心とした相互理解と研鑽を大切にす。<br>②過重労働・総勤務時間の縮減をおこなう。<br>③コンプライアンス研修をおこなう。  | (職) 15. 水曜日の定時退校 80%<br>(職) 17. コンプライアンスの意識を高めた 100%   |

※本文ふりがな省略 ※学期末、生徒の皆さん、保護者の皆さまに「学校教育」のアンケートをお願いします。